

大学生を対象としたe-Learningに関する意識調査： コロナ禍後の変化に着目して

李, 相穆
九州大学大学院言語文化研究院

<https://doi.org/10.15017/7172711>

出版情報：言語文化論究. 52, pp.59-65, 2024-03-15. Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University

バージョン：

権利関係：



大学生を対象とした e-Learning に関する意識調査

——コロナ禍後の変化に着目して——

李 相 穆

1. はじめに

2016年2月K大学の1年生464名を対象としたアンケート調査では、e-Learning 外国語教材に対する学生の意識を調査するため、学生の e-Learning 学習環境と e-Learning を使った外国語学習に対する満足度を調べた¹。その後2020年度からは新型コロナウイルス（COVID-19）に伴う日本国内の学校の臨時休校により、これまでの教育のあり方、授業の進め方を全面的に変えて対策を講じなければならなくなっていた。今まで CALL 教材や Web 教材を利用したことのない教師もオンライン授業などの対策に追われる日々を過ごさなければならなかった。しかし、この時期は遠隔教育や e-Learning の需要が高まり、教材や教育システムがある程度整備されたとも言えるだろう。本校ではコロナがほぼ終息した2023年現在、今の大学生はコロナ以前の学生と e-Learning についての意識がどのように違うのかを調べるため、同大学の1年生91名に同じ内容のアンケート調査（付録）を行い、その結果を報告する。

2. 先行研究

学習量の確保の観点から、いつでもどこでも学習できる e-Learning の果たす役割は大きい。しかし、学習現場に教員が立ち会わないため、その学習の実態は掴みづらいのも事実である²。学生は対面授業の代わりに e-Learning で学習する理由を知った上で学習を続けているのか、学習者の学習についてのモチベーションを維持させるためにはどのような工夫が必要なのかなどの学習者側の情報がないうまま開発が進められているのである。

この問題を解決するために学習者により高い学習動機を持たせるブレンディッドラーニングによる授業実践³も行われているが、実際に学習者がどのように e-Learning 教材を捉え、どのように使っているのかといった情意的側面を調べようとする研究は少なかった。

そこで、本研究では2016年2月K大学の大学1年生464名を対象にアンケート調査と2023年12月K大学の大学1年生91名を対象に行ったアンケート調査を比較することで外国語学習者の学習環境や e-Learning について持っている意識の変化を述べることにする。

3. 情報機器の利用実態

大学生の e-Learning 学習環境を調べるため、学生の情報機器の利用実態を調べた（表1）。2016

表1. インターネットの利用環境

(単位: %)

調査項目	利用している		利用したい		利用していない	
	2016	2023	2016	2023	2016	2023
1. 知人との電子メールやメッセージの送受信	85.34	96.70	1.29	2.20	11.64	1.10
2. ホームページ閲覧	95.69	95.60	0.65	1.10	2.37	3.30
3. 電子掲示板や2ちゃんねる、知恵袋、SNS (Facebook、Google+ など)	85.34	87.91	1.08	2.20	12.28	9.89
4. ネットワークゲームへの参加	37.72	42.86	4.09	9.89	56.47	47.25
5. ネットショッピング	57.11	81.32	10.99	10.99	30.39	7.69
6. ネットバンキング	12.50	49.45	8.41	8.79	77.37	41.76
7. ホームページによる情報発信	12.07	14.29	7.11	14.29	79.31	71.43
8. 音楽コンテンツのダウンロード	51.94	76.92	6.68	8.79	39.44	14.29
9. 動画の視聴、ダウンロード (Youtube、ニコニコ動画などを含む)	90.52	96.70	2.37	2.20	5.39	1.10
10. 外国語学習などのオンライン教材の利用	71.12	54.95	6.90	16.48	20.26	28.57
11. 辞書や百科事典の利用	85.99	82.42	3.23	7.69	9.05	9.89
12. インターネット電話 (Skype)	35.56		11.21		51.51	
12. 遠隔講義 (ZOOM)		94.51		1.10		4.40
13. ウェブ翻訳	69.61	96.70	3.88	4.40	25.00	2.20

年度に行った調査項目から項目12「インターネット電話 (Skype)」に関しては現在利用が見込まれないため、新たに「遠隔講義 (ZOOM)」を設けた。

今回の調査では学生の91.24%がスマートフォンを所持していると答え、2016年度の85.34%より高くなっていて、現在はノートパソコンやタブレット、スマートウォッチを合わせると、ほぼ100%の学生はインターネットが使える環境で生活をしていた。インターネットの利用状況 (表2) をみると「知人との電子メールやメッセージの送受信」が85.34%から96.70%に増え、特に「ネットショッピング」「ネットバンキング」の利用も盛んになっていた。特に注目したいのは新しく設定し

表2. インターネット利用

(単位: %)

	2016	2023
1 インターネットに接続できる機械の種類	スマートフォン	スマートフォン
2 スマホのOS	Android (37.93) iOS (57.57)	Android (12.1) iOS (83.5)
3 誰とやり取りを行っているか	家族、友人、学校以外の友人	家族、友人、学校以外の友人
4 平均インターネット利用時間	30分未満 2.80 30分以上1時間未満 10.99 1時間以上2時間未満 34.27 2時間以上3時間未満 22.84 3時間以上 28.66	30分未満 1.10 30分以上1時間未満 1.10 1時間以上2時間未満 7.69 2時間以上3時間未満 16.50 3時間以上 73.60
5 インターネット接続のために主に使う機械	スマホ、ノートパソコン、デスクトップ	スマホ、ノートパソコン、タブレット
6 使用している e-Learning 教材		

た質問項目の「遠隔教育」が95.45%を占めていて対面授業に戻った今でも大学の講義や会議などに広く普及していると思われる。機械翻訳技術も高度化され、ウェブ翻訳もすでに外国語学習に欠かすことのできないツールになっていることがわかる。「平均インターネット利用時間」をみると、ほとんどの学生が毎日2, 3時間以上使っていた。3時間以上使っていると答えた学生も2016年28.3%だったのに対し、現在は73.6%と大きく変化していた。

4. e-Learning に関する学生の意識調査

e-Learning 教材に対する意識は、表3の7つの項目で調べた。外国語学習教材に関しては全体的に高く評価をしていることがわかる。特に、「コンピューターを使って外国語を学習することに興味がある」、「e-Learning は自分の外国語能力を伸ばすために役に立つ」、「e-Learning の外国語学習は面白い」、「e-Learning の外国語学習は面白い」「コンピューター外国語教材は使い方がわかりやすい」に関しては高評価をしていて近年さまざまな外国語教材が開発されていることが分かった。

表3. e-Learning 教材に対する学生の意識調査

(単位: %)

	2016年度 (N=464)	2023年度 (N=91)
コンピューターを使って外国語を学習することに興味がある	3.08 (SD=1.03)	3.86 (SD= 0.88)
e-Learning は自分の外国語能力を伸ばすために役に立つ	2.90 (SD=1.02)	3.85 (SD=0.67)
e-Learning の外国語学習は面白い	2.48 (SD=1.02)	3.56 (SD=0.81)
コンピューター外国語教材は使い方がわかりやすい	2.90 (SD=1.04)	3.46 (SD=0.76)
外国語授業の前にコンピューターを使って予習している	2.13 (SD=0.10)	2.29 (SD=1.10)
外国語の授業の後にコンピューターを使って復習している	2.15 (SD=0.10)	2.23 (SD=1.01)
教師による外国語授業 (対面授業) より e-Learning の方が好きだ	2.32 (SD=1.04)	2.79 (SD=0.94)

(1. 全く同意できない 2. 同意できない 3 どちらともいえない 4. 同意できる 5. 非常に同意できる。)

5. 学生が考える e-Learning

5.1 学習者が考える e-Learning の利点と欠点

表4と表5は学生が e-Learning 外国語学習について感じている利点と欠点をまとめたものである。

表4. 学生が考える e-Learning の利点

利点 (2016)	利点 (2023)
<ul style="list-style-type: none"> • 時間、場所、空間の制限がない • 何回も復習できる • 自分のペースで学習できる • 学習したいときに学習できる • すばやく大体の情報を得ることができるということ • リスニングの勉強がやりやすいと思う • 紙といった資源の無駄使いを減らす • 採点が高い • 音声や画像を利用できる • 授業外での自主的学習を促す 	<ul style="list-style-type: none"> • 何度でも Listening ができる • AI とスピーキングができる • AI が自分の苦手分野などを分析してくれて、効率よく学習できる点 • 学習に取り掛かるハードルが低い点 • 負担が少ない • 取り掛かりやすい (いろんな言語を少し試しに勉強してみたいときに非常に使いやすい) • 間違えた問題や苦手な問題を分析してくれる点 • ゲーム感覚で学習できる点

表5. 学生が考える e-Learning の欠点

欠点 (2016)	欠点 (2023)
<ul style="list-style-type: none"> • ネットで問題が発生すると活用できない • 分からないときにすぐ聞けないこと • 学習意欲が湧きにくい • 計画的にできずにあぐらをかいてしまう • 記憶に残らない • 勉強した気にならない • 目が悪くなる • 頭が痛くなり集中できない。 • 手で書かないから覚えられない • 受身の学習で退屈 • 気が散る 	<ul style="list-style-type: none"> • 画面を見続けると視力低下が起りそう • 対面の方が刺激があり内容が頭に入りそう • 集中しにくい • 情報が信頼できない • 実際に自分の手で書くことが難しい点 • 他の誘惑が多い • 理解を深めにくい点 • 複雑な質問をしにくい • AI などを用いるものの精度が信用できない • 暗記ゲームになりがちなこと • どこで間違っているかわからないことがある

一般的に言われている e-Learning の利点については学生もほぼ同じ見解を示している。時間や場所の制約を受けない点や何回でも反復練習ができる点が利点だと考えている学生が多い。しかし、欠点として取り上げられている項目から、学生は様々な不満を持っていることもわかった。これは e-Learning という新しい学習ツールに対する期待感だけをもって開発が進められている現状に大きな方向転換の必要性を示していると考えられよう。教師からの視点だけでなく学生がどのように感じていてどのようなものを求めているのかさらなる研究が必要だと思われる。

5.2 e-Learning 外国語教材に対する要望

学生からの e-Learning 外国語教材に対する要望は 2 回の調査で共通する部分が多かった。自分の苦手なところを教えてくれて、学習意欲を維持させてくれるような教材を望んでいた。2023年の調査では AI を利用した外国語会話教材を望んでいて、正しくスピーキングとライティングを採点してくれる教材の要望が多かった。このような教材は以前からも開発されてきていることから実際外国語学習に使うにはまだ精度の問題が課題になっていると考えられる。

表6. e-Learning 外国語教材に対する要望

2016年度	<ul style="list-style-type: none"> • スマートフォンでもできる教材。 • 対話形式のもの • 話し口語（ネイティブが実生活で使うフレーズ）などが学べる教材 • 映像コンテンツ • 自分の苦手を洗い出してくれるようなシステム • 学習方法を監視したりして評価をつけないもの • 毎日簡単にできるもの • 毎日やりたくなるような工夫
2023年度	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル教科書 • 自分が間違えた問題をストックしておき、後からそれらを解き直させたり、類似問題を提示してもらえるような教材 • 単語をすぐに調べることができる • AI と英会話ができる • 毎日通知がくる教材 • スピーキング（ライティング）を採点してくれる教材 • 発音の誤りの訂正をするもの • AI とスムーズに会話できるような教材

6. 終わりに

本稿では2016年に行なった大学生の e-Learning 外国語学習に対する意識を調べるため学生へのアンケート調査とコロナを経験した世代間での e-Learning についての意識を比較した。e-Learning を取り入れた外国語学習機関が増えてきているが、学習が行われる環境には様々な要素が絡んでいる。新しい学習教材、学習方法、学習リソースが溢れているが、まだ確実な教育方法や利用法が確立されてないため、先行の研究や実験などに頼って開発を進めるしかないのが現状である。効果のある外国語教育教材の開発のためには教師や教材の製作者側からの視点だけでなく、その教材を実際に利用する学生からの視点での教材開発を考えていかなければならないと思われる。

参 考 文 献

- 1 李 (2020) 「外国語教育における e-ラーニングの学習高価に関する一考察——大学生を対象としたアンケート調査に基づいて——」『言語科学』第55号, pp. 87-92.
- 2 野澤健・清水裕子 (2012) 「学習者アンケートからみる e-ラーニングの学習態度と効果」『立命館経済学』第60巻第6号, pp. 818-828.
- 3 藤代昇丈・松本泰子・杉山良介・坂本豊子・村井容子 (2009) 「ブレンディッドラーニングによる授業実践とその効果——外国語学習における e-ラーニングの活用——」『岡山県総合教育センター研究紀要』3号, pp. 1-20.

〈付録〉

e-Learning に関する意識調査

■それぞれの項目について、当てはまるものを選んで数字に○印をつけてください。

Q1. あなたはインターネットをどのように利用していますか？

	利用している	今後利用したい	利用していない
知人との電子メールやメッセージの送受信	1.	2.	3.
ホームページ閲覧	1.	2.	3.
電子掲示板や2ちゃんねる、知恵袋、SNS (Facebook, Google+ など)	1.	2.	3.
ネットワークゲームへの参加	1.	2.	3.
ネットショッピング	1.	2.	3.
ネットバンキング	1.	2.	3.
ホームページによる情報発信	1.	2.	3.
音楽コンテンツのダウンロード	1.	2.	3.
動画の視聴、ダウンロード (Youtube, ニコニコ動画などを含む)	1.	2.	3.
外国語学習などのオンライン教材の利用	1.	2.	3.
辞書や百科事典の利用	1.	2.	3.
遠隔講義 (ZOOM, Microsoft Teams)	1.	2.	3.
翻訳	1.	2.	3.

■当てはまるものを選んでください。

Q1. あなたはインターネットに接続できる機械を持っていますか？（複数選択可）

1. 携帯電話 2. スマホ (Smart Phone) 3. タブレット 4. ゲーム端末 5. パソコン 6. ノートパソコン 7. 持っていない 8. スマートウォッチ 9. その他 _____

Q2. あなたのスマホ (Smart Phone) の OS はなんですか？（複数選択可）

1. Android
2. iOS
3. Windows
3. わからない

Q3. あなたはインターネットに接続できる機械を使って誰とやり取りをしていますか？（複数選択可）

1. 家族
2. 学校の友人
3. 学校以外の友人
4. 学校の先生
5. インターネットで知り合った人
6. その他 _____

Q4. あなたは平均して平日どれくらいインターネットを使っていますか？

1. 30分未満
2. 30分～1時間
3. 1時間～2時間
4. 2時間～3時間
5. 3時間以上
6. ほとんどインターネットは使わない

Q5. インターネットに接続するための機械はおもにどれを使っていますか？

1. パソコン
2. ノートパソコン
3. タブレット
4. スマホ (Smart Phone)
5. その他 _____

Q6. 使用している e-Learning の外国語学習教材はありますか？

1. 学内の外国語学習システム
2. 学外の外国語学習システム
3. 教科書などのテキストに付いているネット上の補助教材
4. その他 _____

■ 当てはまるものを選んで○印をつけてください。

例)	
	全く同意できない 同意できない どちらともいえない 同意できる 非常に同意できる

Q1. コンピューターを使って外国語を学習することに興味がある。

全く同意できない 同意できない どちらともいえない 同意できる 非常に同意できる

Q2. e-Learning は自分の外国語能力を伸ばすために役に立つ。

全く同意できない 同意できない どちらともいえない 同意できる 非常に同意できる

Q3. e-Learning の外国語学習は面白い。

全く同意できない 同意できない どちらともいえない 同意できる 非常に同意できる

Q4. コンピューター外国語教材は使い方がわかりやすい。

全く同意できない 同意できない どちらともいえない 同意できる 非常に同意できる

Q5. 外国語授業の前にコンピューターを使って予習している。

全く同意できない 同意できない どちらともいえない 同意できる 非常に同意できる

Q6. 外国語の授業の後にコンピューターを使って復習している。

全く同意できない 同意できない どちらともいえない 同意できる 非常に同意できる

Q7. 教師による外国語授業（対面授業）より e-Learning の方が好きだ。

全く同意できない 同意できない どちらともいえない 同意できる 非常に同意できる